



イラスト「信じ仰ぐ心」 中村 亮子

薬王院誌報 六号

瑠璃光

平成二十六年 夏号

目次

一、住職挨拶	……………	一頁
二、護持役員会(総代・世話人会)	……………	二頁
三、震災復興整備事業の報告	……………	三頁
四、行事開催のご報告	……………	四頁
五、今後の行事予定	……………	四頁

常に願ひ 常に仰ぎ瞻る心



薬王院住職
中村純亮

今年もお盆を迎える時節となりました。檀信徒の皆様には益々ご清祥のことと存じます。

昨年より「震災復興整備協賛事業」を行っております。皆様には護持の志をお寄せ頂き、誠に有難く、御礼を申し上げます。今後共どうぞご協賛の程お願いを申し上げます。

後頁に掲載しましたが、県指定重要文化財「仁王門」は、茅の葺替工事が完了しました。六月十五日現在、境内トイレの新築工事、参道の雨水等の治水工事と舗装工事が行われております。お盆には、完成の運びとなっております。市指定重要文化財の四脚門の瓦修復工事は、補助金申請の準備をしております。

さて、表題の常に願ひ、常に仰ぎ瞻る心について申し上げます。

私たち人間は、いつも何か願ひ事をしていきます。子供や孫が無事育つように。夫や妻、お父さんお母さんの仕事がうまくいくように。おじいさん、おばあさんが健康で過ごせるように。

など、心配事が起こらないように願ひ、日々安心と幸せを祈っております。

しかし、世情不安な社会に翻弄され、私利私欲にかられて、執着やプライドが邪魔をしますと、あの人にだけは負けたくない。自分だけ、家族だけがうまくいくように。などの利己的な願ひが顔を出してることがあります。

自分だけ良くなれば良い、という考えは、安心や幸せにつながりません。大地自然の命、目に見えない神仏に畏敬の念を捧げ、共に生きていることを尊重し、敬愛する心、仰ぎ瞻る心をふまえて願ひ祈ることが大切ではないでしょうか。

お盆・お彼岸などの仏事は、共に生き、生かされている理(ことわり)に気づくひと時です。ご先祖様にご恩を感じ、仏様に心をゆだねる信仰は、私たちを日々の安心と幸せに導いてくれます。

お経には「仏様は、いつも私たちを見つめていらっしゃいます。その慈しみの、み心は広く清らかで光輝いています。どうか常にこれを思い念じ、疑わないうでください。苦悩や死への恐怖を取り除き、無量の海のように功德を下さいます。」と説いています。

どうぞお盆を迎え、御家族御一緒に、祈りの場、信仰を大切になさって、日々の安心に生かしていただきたく存じます。

合 掌

護持役員会(総代・世話人会)

◆会長 挨拶

護持役員会会長 加藤 高藏

謹啓 檀信徒の



皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃

より皆様方には、薬王院護持活動に多大なご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

年前半の仏事および各行事も順調に推移しており、五月二十四日土曜日に行われました「薬師如来示現会・御田植祭」の厳修も皆様のご参加・ご協力により滞りなく終了いたしました。ご本尊である薬師如来様のお姿を拝し、私たち檀信徒の諸願成就と心の安寧が得られたものご心から感謝しております。当日は、示現会が行われました本堂に於いて、加藤万里奈さんによる「口笛演奏」の奉納がありました。

万里奈さんは、昨年米国での世界口笛大会のジュニア部門で見事世界一になった天才少女です。

また薬王院ともご縁があり、護持役員である加藤正蔵様のお孫さんで、現在高校一年生です。「ふるさと」や「千の風になつて」などを演奏され、その

音色は本堂内に響きわたり、思わず聞きほれてしまいました。薬師如来様もさぞかしお喜びになったのでしょうか。ご尊顔に笑みが浮かんでおられました。



加藤万里奈さん

万里奈さんは礼儀正しく、スピーチもお上手で、大いに期待されるスター性を持った方です。ご縁もあり、これからの活躍を見守っていきたくと思っていますので、よろしく願ひいたします。

年後半は、お盆・秋の彼岸会等各仏事・比叡山参拝旅行等が予定されており、事務局の皆さんをはじめ役員一同がお手伝いさせていただきますので、皆様方のご参加をお願いいたします。

さて、皆様にお願ひ申し上げました震災復興整備事業協賛の件でございますが、お陰様で六月末現在、目標額の約八割を達成しもう一步というところでございます。現在参道の舗装・修繕事業、境内トイレ新築工事等を行っており、ご不便をおかけしていますが、

お盆前には工事が終了し、皆様方を支障なくお迎えできる予定でございます。協賛期間は本年九月末日まででございますので、まだお済みでない方は、何卒ご協賛お力添えをいただきたく、重ねてお願ひ申し上げます。結びに、薬王院の益々の発展と檀信徒の皆様方のご健勝とご多幸を祈念し挨拶いたします。

合 掌

護持役員会芳名(敬称略)

- 顧問 笹沼 雪子
- 会長 加藤 高藏
- 副会長 大川 洋一
- 同 打越 芳男
- 同 笹沼 隆史
- 事務局長 飯村 義雄
- 運営相談役 岡野 博親
- 同 大津 和一
- 事務局 川崎 次男
- 同 照山 洋
- 同 中村 まさ
- 同 村井 京子
- 同 笠井 紀子
- 同 萩原 徹夫
- 同 井坂 照夫
- 同 庄司 みね
- 同 海老沢忠明
- 同 遠西 達男
- 同 小室 貞夫

総代

総代
同 山

野内五郎

同 吉田 仁

同 佐藤 安彦

同 山野内吉明

同 加藤 正蔵

同 荻原 昭三

同 荘司 一徳

同 田口 文明

同 沼尻 久

同 皆川 憲弘

同 渡辺 政明

同 鈴木 久

同 三村甚三郎

同 五十嵐達太資

同 堀江 富雄

同 鈴木 薫

同 菊池 三郎

同 栗原 明

同 栗原 義弘

同 本田 昭成

同 伊藤 興一

同 笹沼 浩一

同 加藤 美嗣

同 小室 昌一

同 同



震災復興整備事業の報告

① 県重文 仁王門 茅葺替工事

昨年十月初め着工、十二月二十七日に完了しました。



茅の葺替



下地修繕を視察



② 境内トイレ新築工事



③ 参道治水舗装工事



④ 焼却炉（北側駐車場）設置完了

⑤ 平安仏（本堂内）仏具修繕完了

行事開催のご報告

① 薬師如来示現会―御田桶祭

本年は五月二十四日（土曜）「常願常瞻仰」を主題として、午後三時から開堂、午後四時より、御本尊御開帳のもと、ご奉納・ご参拝各位の諸願成就と復興を祈願して、薬師供と護摩供・毘沙門天供の密教法要を厳修いたしました。



秘仏薬師如来宝前



護 摩 供

尚、献灯のちようちん・あんどん（子供用）をご奉納頂いて、ご本尊様に燈明をお供え頂きました。

午後五時半からは、昨年の世界口笛大会ジュニアチャンピオン加藤万里奈さんが口笛演奏の奉納を行い、参拝者の方々が伴奏に合わせ歌うなど感動し、楽しんだひとときでした。今後のご活躍を期待いたします。



口笛演奏 加藤万里奈さん

午後八時閉堂の後、終了となりました。来年も、五月第四土曜日開催する予定です。是非ご参拝下さい。

② 参拝会 六月十二日〜十三日

良寛さんを訪ねて―弥彦神社参拝 新潟を巡る旅

本年は、今も禅僧であり書家、文化人として大変親しみのある良寛禅師を訪ねて、新潟出雲崎を巡り、また新潟一宮、弥彦神社様を参拝し、清々しい時を過ごしました。



良寛堂で説明をきく（出雲崎）

今後の行事予定

◆ 秋彼岸御中日法要

彼岸のお中日に、檀信徒先祖総回向のご法要を厳修いたします。法要中は、どなた様もご焼香できますので、ご参拝下さい。

- 期 日 九月二十三日
- 時 間 十時半〜十一時半まで
- 場 所 薬王院回向堂

◆ 比叡山参拝のご案内

恒例の本山参拝を十一月十〜十二日の日程により行います。一般参拝ではできない参拝をいたします。

その一つは、一日目、お山に到着次第、参加者各家のご回向法要を阿弥陀

堂でご供養いただきます。

新盆をお迎えのお方は、ご本山で回向いたたく良い機会となりますので、お薦めいたします。

その二は、守護仏を授かる「結縁灌頂」儀式。こちらも普段は入れない、灌頂堂にて十人一組となり、お受け頂きます。会館宿泊の翌朝、総本堂「根本中堂」で朝のお勤めにご参拝頂き、朝食後、伝教大師様の御廟浄土院に参拝いたします。



伝教大師最澄様の御廟浄土院にて参拝

本年は下山の後、薬王院の本寺にあたる、京都青蓮院様に参拝いたします。青蓮院様は、室町時代から大変ご縁の深いお寺です。本年境内に青龍殿が落成します。皆様、是非一緒に参りましょう。